

記入例

(社会福祉協議会、身体障がい者福祉協会共通)

寄付金に関する覚書（社会福祉協議会）

日付は空欄でよい

小美玉市（以下「甲」という。）と●●●●●●（以下「乙」という。）は、令和 年 月 日付締結の公有財産賃貸借契約に基づき、乙が下表において設置する寄付機能付自動販売機（以下「自動販売機」という。）による寄付金に関し、次のとおり覚書を締結する。

契約	物件番号	財産名称	設置場所
○	小川総合支所 2	小川総合支所	1 階 ロビー

※契約欄には、貸借されるものが、乙が設置する自動販売機である。

該当するものに○

第 1 条 （寄付金の額）

乙は、自動販売機による売上額のうち 10%（相当額）以上を、社会福祉に対する寄付金として、小美玉市社会福祉協議会（以下「社会福祉協議会」という。）に支払うものとする。

第 2 条 （寄付金の支払方法）

前条の寄付金については、乙と社会福祉協議会が別途締結する覚書に基づき、乙から社会福祉協議会に直接支払うものとし、それに伴う手数料等は乙の負担とする。

第 3 条 （覚書の有効期間）

本覚書の有効期間は、本覚書締結日から令和 13 年 3 月 31 日までとする。

この覚書の成立を証するため本書 2 通を作成し、甲乙各 1 通を保有する。

日付は空欄でよい

令和 年 月 日

小美玉市堅倉 835 番地

甲

小美玉市長 島田 幸三

あらかじめ支店等に委任する場合は、委任先の内容で作成すること。

乙

〇〇市〇〇

●●●●●●

代表取締役 〇〇 〇〇

◎作成における注意点

- 覚書は（社会福祉協議会）分と（身体障がい者福祉協会）分を乙欄に記名押印の上、2 部ずつ提出すること。ただし、申込する入札物件の寄付先が、社会福祉協議会の場合のみは（社会福祉協議会）分のみを、身体障がい者福祉協会の場合は（身体障がい者福祉協会）分のみを作成すればよい。
- 日付欄は、公有財産賃貸借契約書の締結日を後日記入する。
- 表中の契約欄は、入札結果に基づき市側で記入する。
- 覚書は公有財産賃貸借契約の締結に合わせ、甲側押印のうえ 1 部を返送する。